

茂木校区まちづくり計画書

本編



撮影：愛谷 理徳

注)この写真は、今回のまちづくり計画書をつくる中で出てきたアイデアから始まった第1回フォトコンテストの審査員特別賞の作品です。この写真以外にも本計画書の中にはフォトコンテストに出展された写真が使用されています。

平成28年11月

茂木コミュニティ連絡協議会

～ 目次 ～

はじめに…

- 1 茂木校区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 2 茂木校区の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 3 茂木校区の宝・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 4 茂木校区の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 5 目指すべき将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 6 茂木校区のまちづくり基本理念・・・・・・・・・・ P 9
- 7 茂木校区の事業の提案・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
- 8 茂木コミュニティ連絡協議会推進体制・・・・・・・・ P18
- 9 これまでの経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20

はじめに…

人口減少、少子高齢化が進む茂木において、地域住民や各種団体、企業など地域に関わる全ての人と協働して、茂木校区のまちづくりを進めていく必要があると考えています。

茂木校区のまちづくりの方向性を示し、計画的に進めていくために、茂木校区まちづくり計画を策定しました。この「まちづくり計画」は、すべての住民に共通意識を持っていただくための計画とするため、住民の意見を反映し、必要に応じて見直しを行ってまいります。

1 茂木校区の概要

(1) 茂木の歴史

茂木は、1580年に大村藩からイエズス会に寄進され、その後、豊臣秀吉が教会から没収した後、島原領を経て天領となり幕末を迎えました。明治になって陸上交通が整備されるまでは、貨物の輸送には船が用いられており、長崎と島原、天草、熊本、鹿児島を結ぶ海上交通の要衝として栄えました。

(2) 地名の起源

その昔、神功皇后が朝鮮征伐の帰途、名もない浦に舟を入れられて裳（も）をお着けになったので裳着（もぎ）の地名が起り、その後読みやすいように「茂木」となったといわれています。

(3) 茂木校区の今

茂木校区は長崎市の中心市街地に隣接し橘湾を望む風光明媚な地にあります。古くから農漁村として発展を続け、昭和37年に長崎市に編入。“茂木びわ”をはじめとする農業、“ハモ”“アマダイ”などで有名な漁業、そしてこれらの新鮮な海の幸山の幸を生かした料亭などを中心に、旬の美味を求める多くの人たちの賑わいの中で発展を続けてきました。加えて熊本県苓北町とのフェリー就航により長崎の東の玄関口としての役割も果たすなど長崎経済の一翼を担ってきました。現在はフェリーにかわり高速船が運航しています。

- ・ 茂木地区の特産品 びわ、桃、梨、みかん、デコポン、いちご、筍、花卉類
ハモ、ヒラメ、アマダイ、クルマエビ
- ・ 市指定天然記念物 宮摺山ン神の社叢、竈（かまど）神社の大クス
- ・ 市指定無形民俗文化財 北浦の俵かたげ・獅子踊り
- ・ 県指定天然記念物 茂木植物化石層

2 茂木校区の現状

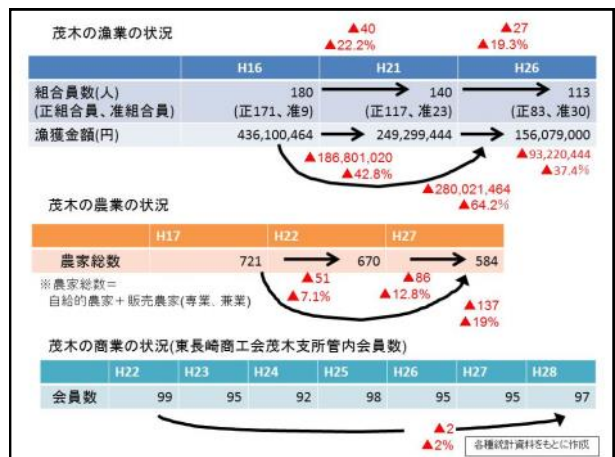
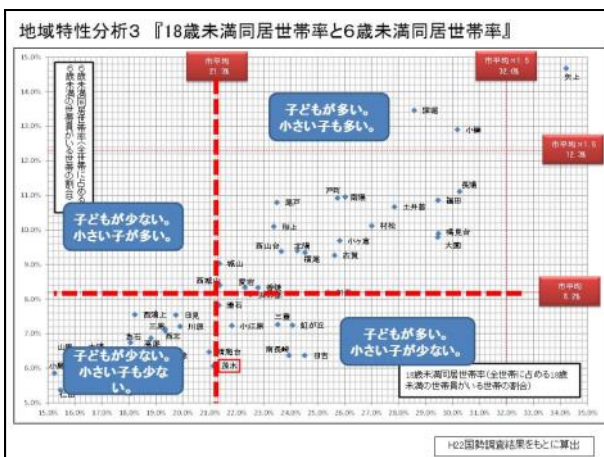
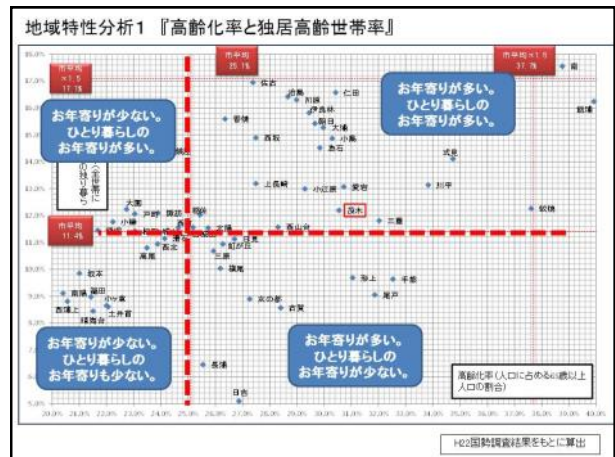
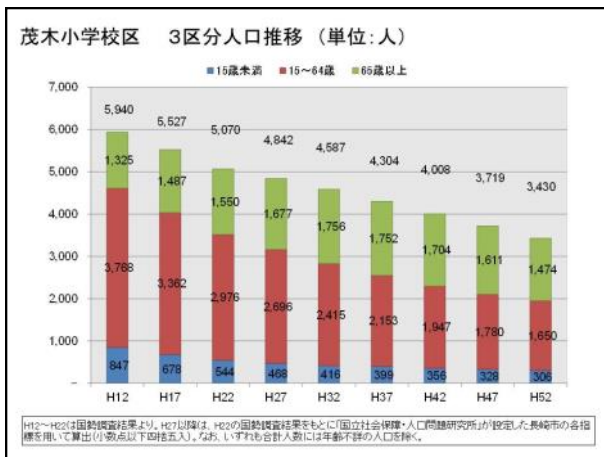
茂木校区には、現在、2,162世帯、4,706人(平成28年8月末現在。長崎市住民基本台帳)が住んでいます。一般的に人口減少、少子高齢化と言われていますが、茂木の現状も平成12年から平成22年の10年間で、人口は870人、14.6%減少し、そのうち、子どもは303人、35.8%が減少、高齢者は225人、17%増加と、人口減少、少子高齢化が進んできており、今後もその状況は進んでいく予測がされています。

長崎市内の他地区と比較した場合の茂木地区の特徴としては、高齢化は進んでいるものの、単身世帯はそれほど多くなく、少子化については、それほど進んでいるわけではないが、小さい子どもが少ないので、これから一気に進む可能性があります。

また、古くから漁業、農業を主要な産業として発展してきましたが、近年従事者の減少が著しく、漁業については、平成16年から平成26年にかけて67人、37%、農業については、平成17年から平成27年にかけて137世帯、19%が減少しており、漁業、農業ともに担い手の確保が大きな課題となっています。

「茂木の現状」

- ▶お年寄りは多いけど、一人暮らしは少ない
- ▶子どもが少ないわけではないが、小さい子どもが少ない
- ▶漁業、農業は従事者減少。商業はほぼ横ばい



3 茂木校区の宝

(1)自然

- 宮摺海岸から見る朝日
- 美しい橘湾の朝景色
- 潮見崎観音から見える布引の月
- 星空がきれい
- 若菜川(ホタルが飛び、うなぎが取れる)
- 若菜川の下流にあるせんだんの木
- 竈神社の大クス
- 弁天山
- 北浦のドンク岩
- 宮摺海岸●宮摺の黒瀬島(プチ軍艦島)
- 空気がきれい
- 温暖な気候
- 100本の桜
- 田上～茂木の菜の花

(2)歴史・文化

- 昔からのまちなみ(古い蔵、レンガ作りの壁、趣のある古民家)
- 茂木港の船が並んでいる風景
- 茂木街道
- 色々な化石がある化石層
- 茂木弁『ちんじん』
- 裳着神社
- 竈神社の初日の出の風習
- 料亭二見の石垣
- 古くからの歴史(長崎の奥座敷)

(3)人

- 人情が厚い
- つながりが強い
- 素直で元気な子ども
- 治安がいい
- 住民がやさしい
- 元気なお年寄りが多い
- 近所に憩いの場を提供している田賀農まち子さん
- 竹細工が得意な鳥越肉屋さん

(4)地域活動

- 地域の団結力が強い
- 美しい町づくりの取り組み
- 環境保全活動(EM団子)
- 様々なイベント(ふれあいまつり/茂木くんち/びわまつり/ペーロン大会)

(5)食べ物

- 海のもの(クルマエビ/魚/すり身/山清の刺身定食)
- 山のもの(ビワ/みかん/梨/桃/いちご/たけのこ)
- オロンのパン
- 一口香
- 料亭の料理
- 田口天ぷら屋の天ぷら
- ぶらぶらハウス
- 水がおいしい

4 茂木校区の課題

(1)人口が減り活気がなくなる(地域活動や交流などに関すること)

- 地域を支える自治会、民生委員などのなり手がなくなるだろう
- 地域行事ができなくなるだろう
- 空き家、空き地が増え、限界集落になる地区が出てくるだろう
- バスの便が減少するなど交通が不便になるだろう
- 若者が減り、つまらないまちになるだろう

(2)滅びゆく産業(産業に関すること)

- 漁師がいなくなり、漁業が衰退するだろう
- 農業者が減り、耕作放棄地が増えるだろう
- 『茂木びわ』がなくなっているかもしれない
- 商店が少なくなり、買い物が不自由になるだろう

(3)子どもが減る(子育てや青少年の育成に関すること)

- 保育所、小学校、中学校が統廃合になるかもしれない
- 地域行事への子どもの参加がなくなるかもしれない

(4)お年寄りが増える(福祉や健康に関すること)

- 高齢者の行方不明が増えるかもしれない
- 高齢者の生活困難が浮き彫りになるかもしれない
- 生活保護世帯が増えるかもしれない

(5)地域の荒廃(生活環境や地域の安全安心に関すること)

- ゴミが掃除されず、町がよごれていくかもしれない
- 猫、カラス、イノシシが増えるかもしれない



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：染浦 寿昭

5 目指すべき将来像

(1) 地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること

① 地域活動について

- 後継者が増えるまちにしたい
- 活気ある町にしたい
- 茂木はよかねと言われるようにしたい
- 他の地域からまねされるような、皆にあこがられるまちづくりをする
 - ・ 色んなスポーツができるまち
 - ・ みんなが集まる行事が継続するまち
 - ・ 茂木の自然環境を維持し、市民が遊べるまち
- 「いなか」を逆手にとった町に

② 過疎化について

- 茂木の人ではなくても住みやすいまちづくりをする
 - ・ UIターンの人、新婚世帯、子沢山世帯、若い人
- 空き家、空き地がなくなっている
- 住むところを増やして、人を呼べるまち

③ 交通について

- 交通アクセスが良くなり、住みたい人が増える
- 子どもが安全に登校できるように道ができています

④ 交流について

- よその人と交流し、人の流れが絶えないまち
- 娯楽があり、住んでいる人が楽しい町



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：田村 裕子

(2) 産業の振興に関すること

① 漁業について

- 橘湾を宝の海にしたい
- 漁師が自分で魚を売る様になる

② 農業について

- 農作物がたくさんとれる
- 茂木びわが宮崎マンゴーより有名になる
- 休耕地が活用されている
 - ・ 農業をしたい人が畑を借りられる



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：中 紀光

③商業について

- 色々な物が買え、買い物に来たくなる
- 昔の銀座通りが復活している

④漁業、農業、商業に共通すること

- 若い後継者がいる
- 地元の産物がいつでも買える地産地消のまち
 - ・道の駅、海の駅、まちの駅
- 漁業や農業の体験ができる茂木
- 特産品をみんなで作り、販売する
- 皆で力を合せ新しい産業を生み出す
 - ・特産品を皆で作りに、販売する
- 1人1人が株主のように金をかせぐ
- 年をとっても働ける
- 地域の柱となる産業がある



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：城下 かずみ



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：茶谷 敏子

(3)子育てや青少年育成に関すること

- 安心して子育てでき、子どもの声であふれる茂木にしたい
 - ・子育てのモデル地区に認定される
 - ・たくさんの子どもが、お年寄りと仲良くする
- 幼稚園を復活させたい
- 子どもたちが夢をもてる町
- 子どもたちが遊びに来れるまちづくり
- 茂木の子どもと全国の子どもが交流

(4)福祉や健康に関すること

- 高齢者が安心して暮らせるように利便性がよく、安全・安心な優しいまち
- お年寄りが活気づき、活躍できるまち
- お年寄りが元気で楽しく過ごせるまち

(5)生活環境や地域の安全安心に関すること

- ゴミがないきれいな茂木
- 茂木の自然環境を維持し、美しい景観の茂木
- 大雨が降っても浸水しない町



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：池山 賢太郎

6 茂木校区のまちづくり基本理念

朝日が昇る 活気と笑顔あふれる うまかMOGI ～こんな近くに訪れたいまちがある～

【基本理念とは】

人がやることに完璧はありません。時には迷ったり、うまくいかないこともあります。理念とは、そんな時に拠り所となる原点の思いです。

何のためにまちづくりを行うのか、10年後の目指す姿は何かなど根本的な目的を明確にして、茂木に住むすべての住民に共感してもらえような基本理念(キャッチフレーズ)をみんなで考えました。



【キーワード解説】

▶朝日が昇る・・・

橘湾から昇る朝日は、中学校の校歌にも使われているほどの茂木校区の住民が誇りに思う風景。そのような風景をこれからも大事にしていきたい。

▶活気と笑顔あふれる・・・

茂木はこれまで行事などを通じて活気あるまちづくりを行ってきた。これからもそのように活気があふれ、さらに、住民の笑顔であふれるまちにしていきたい。

▶うまか・・・

茂木にはおいしいものがたくさんある。地域内外にPRし、それを活かしたまちづくりを行っていききたい。

▶こんなに近くに訪れたいまちがある・・・

茂木は長崎市中心部から車で15分程度と比較的近い場所にある。中心部から近いことをPRし、茂木の魅力に磨きをかけることで、多くの人を呼び込んでいきたい。

7 茂木校区の事業の提案

次の事業は、茂木地区の特徴をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し、目指すべき将来像に導くための事業として、計画書策定の経過の中で出された意見を基に検討したものです。大きく分けて、11ページの5つに分類されます。それぞれの分野の事業内容については、10ページから17ページに記載のとおりです。

今後、実際に取り組むべき事業についてさらに検討し、住民への説明、賛同を得たうえで可能なものから実施していきます。

(1) 地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 地域活動について	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるイベント、まつりを企画する <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の学校in茂木 ・歴史ツアー+食べあるき ・体験型イベント ●茂木の魅力や情報を内外にPRする <ul style="list-style-type: none"> ・SNS(Facebook、twitter、Instaglam)、情報誌、メディア等を活用 ・ミス茂木を選ぶ ・写真コンテストを開催する ●地域の拠点をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・事務所を開設する 	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるイベント、まつりを企画する <ul style="list-style-type: none"> ・屋台村、テント村 ・なんでもギネスに挑戦 ・食のイベント ・ウォーキング大会(自然体験、季節、八十八か所) ・夜のイベント
② 過疎化対策について		<ul style="list-style-type: none"> ●空き地を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・土地を全国に無償で貸し出す ・家を建てる条件を有利にする ●空き地、空き家の活用について考える <ul style="list-style-type: none"> ・地主が話し合う場、地主さんに相談する場、活用案を考える場をつくる

◆これからの茂木校区の事業

- (1)地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること
 - ①地域活動について
 - ②過疎化対策について
 - ③交通の整備について
 - ④交流について
- (2)産業の振興に関すること
 - ①漁業について
 - ②農業について
 - ③商業について
 - ④漁業、農業、商業に共通することについて
- (3)子育てや青少年育成に関すること
 - ①学校教育外について
 - ②学校教育について
- (4)福祉や健康に関すること
 - ①住民の福祉について
 - ②住民の健康づくりについて
- (5)生活環境や地域の安全安心に関すること
 - ①生活環境を整えることについて
 - ②安全安心な茂木をつくることについて
 - ③災害に強い茂木をつくることについて

③ お金はかかるが、時間はかからない

- 人が集まるイベント、まつりを企画する
 - ・茂木「三大奇岩まつり」(どんく岩、立岩、宮摺の瀬)
 - ・季節に合わせたイベント(月見、盆踊等)
 - ・有名人を呼ぶ
 - ・力士をふれあいまつりに毎年呼ぶ
 - ・ミニトライアスロン大会
 - ・花火大会
- 茂木の魅力や情報を内外にPRする
 - ・ゆるキャラをつくる

④ お金も時間もかかる

- 人が集まるイベント、まつりを企画する
 - ・釣り堀をつくり、釣り大会
 - 地域の拠点をつくる
 - ・大型ふれセンを建てる
-
- 独身者、若い子の婚活を行う
 - ・婚活のテレビ番組を呼ぶために手紙を出す
 - ・娘に婿を茂木に連れてこさせる
 - 子どもを増やす取り組みをする
 - ・子どもを6人以上生むと100万円もらえる
 - 空き家を活用する
 - ・「いこいの室」をつくる
 - ・実態調査をし、空き家情報を公開する
 - ・移住希望者の体験住宅にする
 - ・若者、子育て世帯に低額で貸し出す
 - ・地域の集いの場にする(お年寄り・食事会・自治会など)
-
- 移住者を増やす取り組みをする
 - ・移住者向けツアーを行う
 - ・意欲がある人を呼び込む
 - ・移住希望者と地元のいい人を会わせる仕組みをつくる
 - ・移住体験の仕組みをつくる
 - 生活しやすい環境を整備する
 - ・団地、マンション、市営住宅等を造る
 - 空き地を活用する
 - ・マンション、アパートをつくる
 - ・プールをつくる
 - ・空き地を整備して住宅地を増やす
 - ・駐車場にする
 - ・農振地域、市街化調整地域をなくし、売却できるようにする

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
③ 交通の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の整備について、市・県に陳情し、実現に向けて協議する <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数を増やす 	
④ 交流について	<ul style="list-style-type: none"> ●地域内での交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・地元の人が地元の良さを知るツアーを実施 ●地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行のモデルコースをつくる(ペーロン体験&イルカウォッチング&すりみづくり) ・外国人と交流する(ホームステイの受入、英会話教室を開く) ・茂木さるくを充実させる(まち歩きマップ <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブマップを作成、さるくの事務所を作る) ・天草との交流、協力を強める ・観光発展の為、標識を充実する(子どもが喜ぶ案内板をたくさん設置する) 	

(2) 産業の振興に関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 漁業について	<ul style="list-style-type: none"> ●稚魚放流を行う ●漁礁をつくる ●水産試験場と連携する ●リヤカーを集めて色を塗って魚を売る ●橘湾を宝の海にするために、学生を巻き込んで、橘湾復興コンペを開催 ●魚の料理教室や料理コンテストを開催 	
② 農業について	<ul style="list-style-type: none"> ●果物の新商品を考える ●びわの品種改良や加工品を考案する 	<ul style="list-style-type: none"> ●皆で収穫し、販売する仕組みをつくる ●びわのオーナー制を導入する ●休耕地を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・レンタル農園、観光農園を開く ・牧場を作る ・新たな茂木の特売品を栽培する

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
<ul style="list-style-type: none"> ● 国道沿いの竹を伐採する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路整備について、大きな会をつくり、市・県に陳情し、実現に向けて協議する <ul style="list-style-type: none"> ・ 茂木バイパス、道路拡張など ● コミュニティバスを運営する
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊をする ・ 外国人と交流する(外国人向け看板、パンフを作成する) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内での交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流できるような広い運動公園を設置する ● 地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を生かし都会からの富裕層を呼ぶ(地形がギリシャに似ているので、茂木の建物を白にする) ・ 外国人と交流する(外国船が入るように港を改修する) ・ 海辺を活用し、夏の茂木に集客する(全て砂浜にして海水浴場に、マリアクティビティなど) ・ 茂木さるくを充実させる(人力車で茂木を案内する)

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
	<ul style="list-style-type: none"> ● 養殖場やいけすを作り養殖する
	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の道路を整備する

① お金も時間もかからない		② お金はかからないが時間がかかる	
③ 商業について	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるカフェ、イベント会場を作る <ul style="list-style-type: none"> ・町家、蔵を活用 ・茂木のスイーツを出す 		
共通する点について ④ 漁業、農業、商業に	<ul style="list-style-type: none"> ●県と市とフェリー乗り場などの箱モノを活かす話を始める ●販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの直営店 ・テント市 ●グリーンツーリズムを拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・茂木の食べ物さるく ・パン、一口香作りの体験 ・市内の小中学生に漁業、農業体験してもらう 		

(3) 子育てや青少年育成に関すること

① お金も時間もかからない		② お金はかからないが時間がかかる	
① 学校教育外について	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとお年寄りの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・年配の方から子どもたちへ遊びの伝達 ●子どものおもてなし事業隊をつくる ●子どもがイベントを企画する ●子どもが遊べる場所を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を活用 ・プレイパークをつくる ●EM団子づくりを行う 		
② 学校教育外	<ul style="list-style-type: none"> ●特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の交流をする ●小、中学校の部活動を絞る 	<ul style="list-style-type: none"> ●特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・特定のスポーツが強い学校を目指す 	

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
	<ul style="list-style-type: none"> ● 選果場を住・食・遊の場所に変える ● 大型商業施設を作る ● 朝市を毎日開催する ● 店を増やす(コピーをしてくれる店) ● スーパーやコンビニを呼び込む <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資を募り、集落コンビニをつくる ● 移動販売をしてもらう ● 安定した雇用の創出 ● 人が集まるカフェ、イベント会場を作る <ul style="list-style-type: none"> ・ 海の家をきれいにして活用 ・ 漁師の「かあちゃんの店」をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ● 若い後継者をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ やってみたい人の受け入れ事業 ・ 漁業、農業の教育をする ・ 担い手育成の補助金をつくる ● 販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部に売り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 茂木全体で商品をつくり、販売する ● 漁業、農業の株式会社化を図る ● 漁業、農業の6次産業化を図る ● 販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅 ・ もぎたて市を拡充 ・ アンテナショップ ● 魚、農作物のブランド化に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税を活用

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども向けスポーツイベントを開催する ● ペーロンを子どもたちに伝える ● 習い事ができるところをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとお年寄りの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が子どもを安くで預かるサービス(寺子屋、老人小屋)をする ● 子どもが遊べる場所を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園を増やす ● 小、中の寺子屋をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・ すごい教師を呼ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・ 小、中、高一貫校にする ・ 進学校を誘致する ・ 眺めが良いきれいな学校を作る ・ 学校の制服を有名な芸能人にデザインしてもらう ・ 幼、小、中、介護施設合同のビルを建設 ● 特色ある保育園、認定こども園にする

(4) 福祉や健康に関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 住民の福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの見守りネットワークを構築する <ul style="list-style-type: none"> ・ 声かけ/挨拶をする ● 高齢者と子どもの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りが子どもを安くで預かるサービス(寺子屋、老人小屋)をする ・ お年寄りが子どもに昔遊びを教える ● 高齢者同士のつながりをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のネットワークや大きな団体をつくる ・ 高齢者同士の交流の場(気軽に立ち寄れる場所、ゲーム大会など)をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの見守りネットワークを構築する <ul style="list-style-type: none"> ・ おじいちゃんおばあちゃん主張大会を開催する
② 住民の健康	<ul style="list-style-type: none"> ● トレッキングチームを作る ● 無料で呼べる体操の先生に来てもらい、地域住民でできるようになる 	

(5) 生活環境や地域の安全安心に関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 生活環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保護のボランティア団体、NPO結成し、PRを行う <ul style="list-style-type: none"> ・ アースの会、愛創会をNPOへ ・ 同じような団体を統合する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野良猫を減らす <ul style="list-style-type: none"> ・ 猫に無責任なエサを与えず、責任を持って育てるように啓発する ・ 野良猫の去勢処置 ・ 野良猫の生存実態をつかむ
② 安全安心な茂木を	<ul style="list-style-type: none"> ● 声かけ/挨拶をする ● 防犯や見守りの仕組みをつくる ● ごみを無くす <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミのマナーについての啓発 ・ 毎月1回日曜日に子どもから大人まで全員で茂木の清掃をする日を設ける 	
③ 災害に強い茂木を		

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が生活に困らない交通の便をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り合いタクシーのコースを調べてつくる ● 高齢者の人材バンクを作る <ul style="list-style-type: none"> ・ 特技を生かす ● 高齢者へのアンケートを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いこいの室」をつくる ・ お年寄り、食事会、自治会など地域の集いの場にする
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康遊具をつくる ● 健康づくりサークルをつくる 	

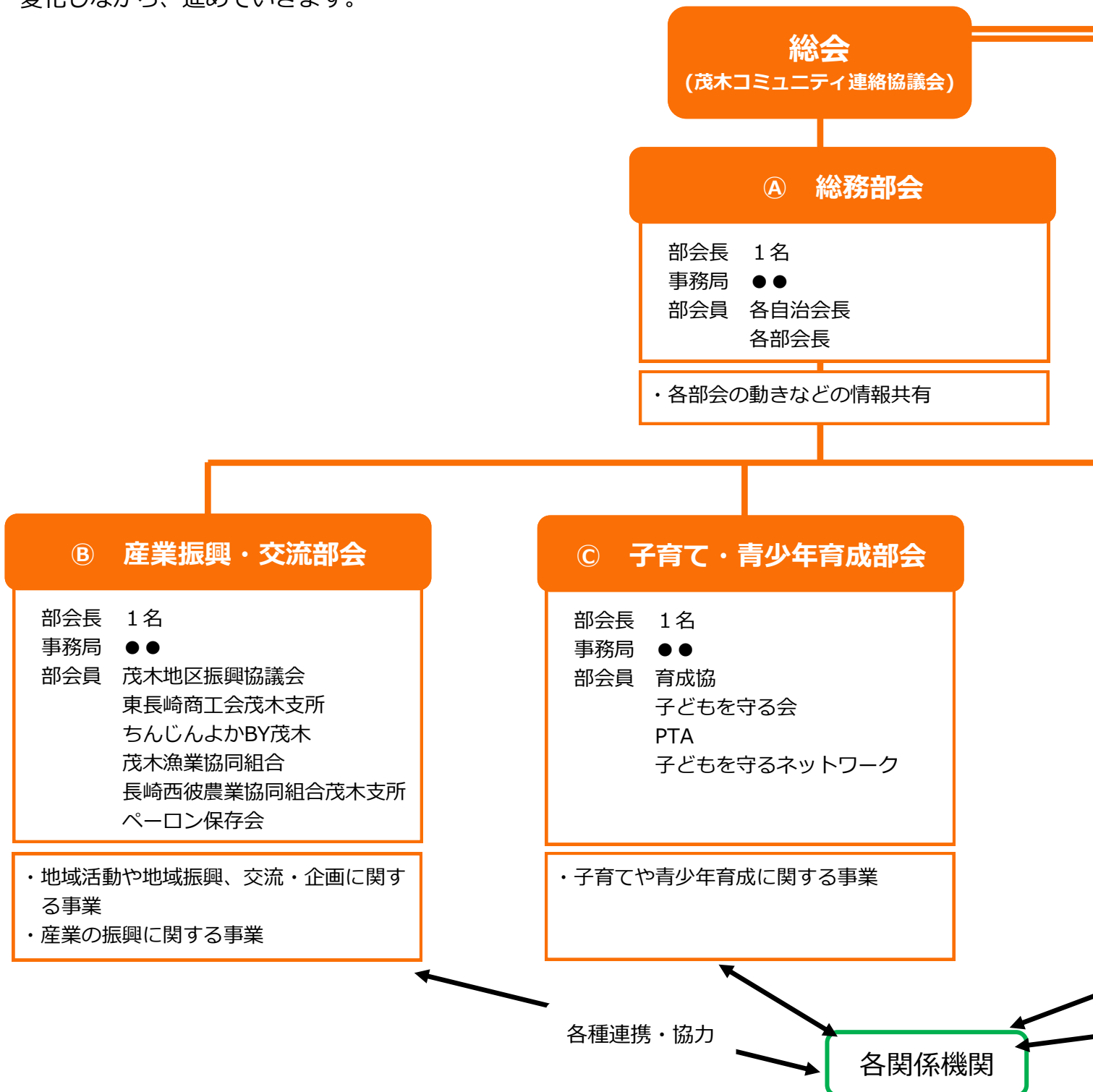
③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
	<ul style="list-style-type: none"> ● 当番制で植物を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会や団体が共同で育てる ・ 区画を決めて、各地区ごとに取り組む ・ 団体ごとにコーナーをつくる ・ きずな公園の植栽を増やす ・ お花畑をつくる ・ 町中に花木を植える ・ 浜町～茂木に桜並木を作る ● 若菜川を整備する ● 田上～茂木間の道路の美化に取り組む ● 川がある地域の地域間連携を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内中心部への複数の幹線道路をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に孤立しない ・ リダンダンシー(※)の確保 <p>※リダンダンシーとは… 「冗長性」、「余剰」を意味する英語。国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。(国土交通省HPより)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高台(弁天山)を公園化し、避難所にする

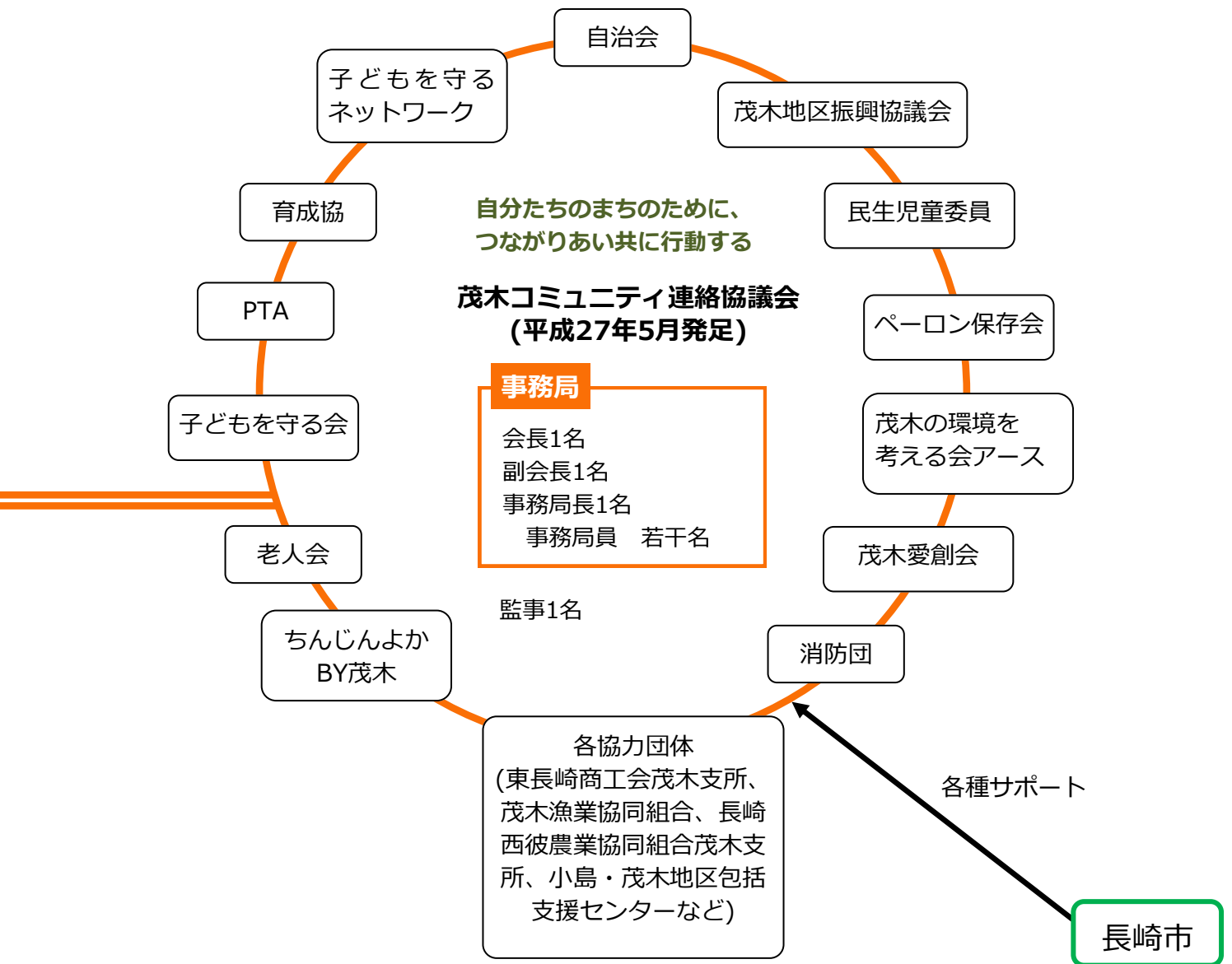
8 茂木コミュニティ連絡協議会推進体制

今後、地域の現状や課題と向き合い、まちづくりをさらに進めていく組織として、茂木コミュニティ連絡協議会に次のとおり部会制を設け、関係機関との連携も図りながら、様々な事業に取り組んでいきます。

各部会には、部会長及び事務局を置き、また、各部会の活動の内容の共有、連携を図るため、各部会長及び自治会長からなる総務部会を設置します。

ただし、この推進体制については、今後の社会情勢、地域の状況、事業展開次第で、柔軟に変化しながら、進めていきます。





④ 福祉・健康部会

部会長 1名
事務局 ●●
部会員 民生児童委員
老人会
自治会
小島・茂木地区包括支援センター

・福祉や健康に関する事業

⑤ 生活環境・安全安心部会

部会長 1名
事務局 ●●
部会員 茂木の環境を考える会アース
茂木愛創会
消防団
自治会
民生児童委員

・生活環境や地域の安全安心に関する事業

各種連携・協力

9 これまでの経緯

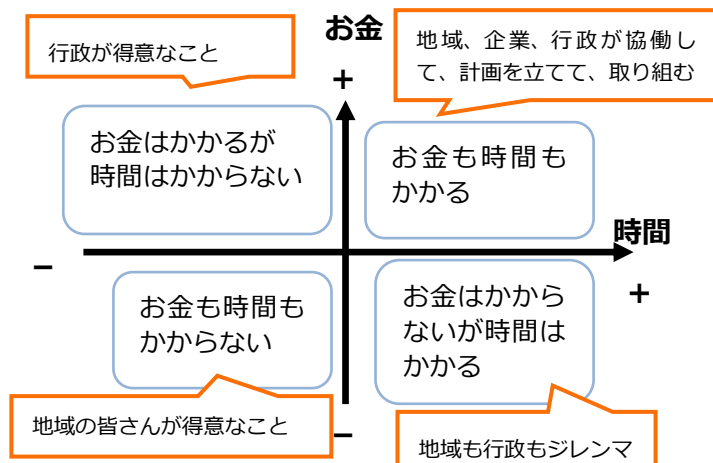
第1回 ワークショップ

日程▶平成28年5月20日(金)
 時間▶午後7時～9時10分
 場所▶茂木地区公民館講堂
 参加▶45人
 テーマ▶地域の宝物をどう生かすか考える

茂木のまちを元気にしたい！という熱い思いをもった地域の皆さんと会議をサポートする市職員らが参加し、にぎやかな会議となりました。

グループに分かれて、茂木の宝やそれを活かす方法について語り合いました。

皆さんから出されたアイデアを時間軸とお金軸で4つの領域に整理して分析してみると、地域ですぐでも取り組めることがたくさんあることがわかりました。また、お金も時間もかかる領域のことは、地域や企業・行政が協働し、長い目で計画的に取り組む必要があるということもわかりました。



アイデアの特徴▶

- ・地域が得意とされている「お金も時間もかからない」の領域に関するアイデアが多く、すぐにも実践できそうなものがあった
- ・「お金も時間もかかる」領域のアイデアも多く、地域だけでなく、企業・行政と協働してどう実現していくかという長期的な計画を立てて、取り組んでいく必要がある

第2回 ワークショップ

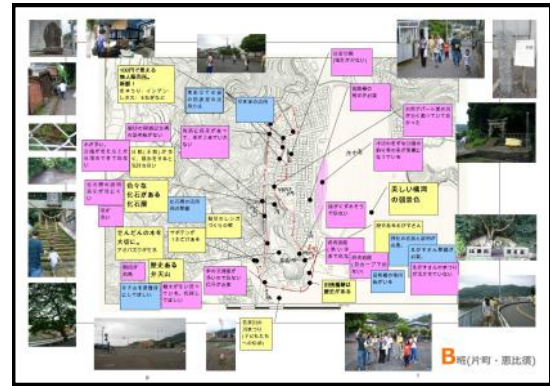
日程▶平成28年6月19日(日)

時間▶午後2時30分～6時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

参加▶45人

テーマ▶まちを歩き、まちを知る



茂木のまちを知るために、参加者でまち歩きを行いました。

実際にまちを歩くことで、普段見過ごしているまちの宝をより多く発見することができました。



まちを歩いて「大切にしたいなあ」「いまいちだなあ」と感じたもの・場所などについて各班で意見を出し合い、地図に落とし、見える化しました。



第3回 ワークショップ

日程▶平成28年7月20日(水)

時間▶午後7時～9時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

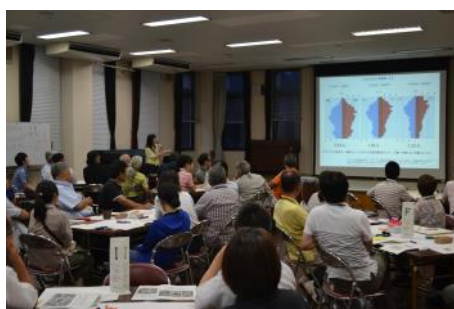
参加▶70人

テーマ▶これからの茂木を考える



長崎市の統計資料を基に、茂木の人口動向や産業構造の変化等、これからの状況について、長崎市地域コミュニティ推進室から説明していただき、茂木の状況をみんなで共有しました。

- ◀茂木の現状▶
- ・お年寄りが多いけど、一人暮らしは少ない
 - ・子どもが少ないわけではないが、小さい子どもが少ない
 - ・漁業、農業は従事者減少。商業はほぼ横ばい



説明のあと、このままなら茂木はどうなるのか（成行きの将来）、将来はどんな茂木にしていきたいのか、どんな茂木に住みたいのか（可能的将来）ということ意見を交換やワークショップを交えて考えました。



第4回 ワークショップ

日程▶平成28年8月24日(水)

時間▶午後7時～9時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

参加▶64人

テーマ▶未来への手立てを考える



第4回は、第3回の話をもとに話し合いを進めていくため、また、今回から新たに参加した方もいたので、前回の話し合いで、どのような話があったのかを班ごとにふりかえりました。また、会場には、これまでの話し合いで出た茂木のいいものを活かすアイデアの一覧表や大切にしたいと思うものが記載された茂木の地図データなどを貼りだし、第1回から第3回でどのような話し合いがなされたのかを共有しました。



ふりかえりの後、「自分が住みたいと思う茂木にするためにはどうしたらいいか」「そのためには何が必要か」という未来への手立てをみんなで考えました。



第5回 ワークショップ

日程▶平成28年9月21日(水)

時間▶午後7時～9時

場所▶茂木地区公民館講堂

参加▶41人

テーマ▶未来の目指す姿を決める

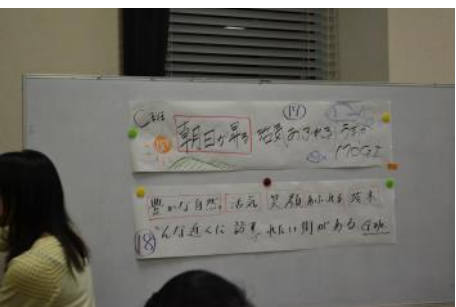


これまで話し合ってきたことをベースに、「10年後の茂木のまちづくり理念、目指す姿(キャッチフレーズ)」をみんなで考え、みんなで決めました。

まちづくりの理念(キャッチフレーズ)とはどういうものか、なぜ考える必要があるのかを共有し、これまでの報告書や他地区のキャッチフレーズ、民間企業のキャッチフレーズなどを参考にしながら、みんなで考えました。



各班で考えたキャッチフレーズの中から投票で2つ選び、最終的にそれぞれのキャッチフレーズの共通点やいいところをうまく組み合わせ、1つのキャッチフレーズを作り上げました。



第6回 ワークショップ

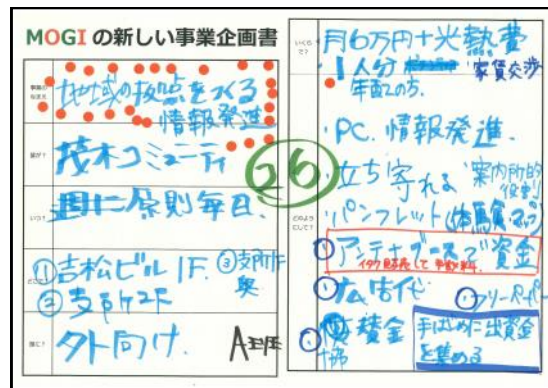
日程▶平成28年10月19日(水)

時間▶午後7時～9時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

参加▶53人

テーマ▶まちづくり計画書をつくる



これまで話し合った内容を踏まえて作成した「まちづくり計画書」のたたき台を基に、みんなで計画書を作り上げました。

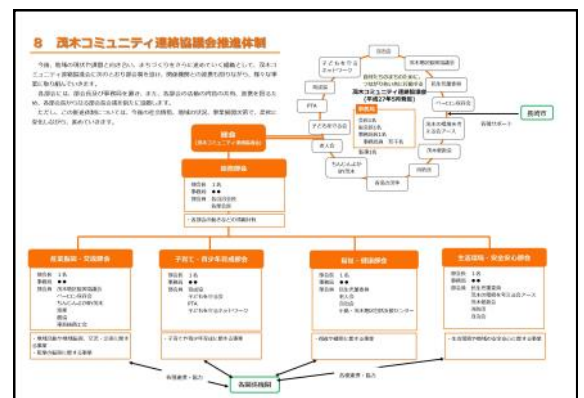
これまで出てきた事業のアイデアについて、どれが取り組みやすいのかをみんなで共有するために、これまで出てきた全部の事業をカードにして、縦軸をお金、横軸を時間の表に整理してみました。



整理した後、自分たちで来年実際にやってみたいと思う事業を1つ選び、各班で事業企画書を作成しました。「誰が」「いつ」「どこで」「誰に対して」「どのようにして」実施するのか、そして、実施には「いくら」かかるのかなど具体性のある企画書を作りました。



最後に、まちづくり計画書の案、計画を実現していくための推進体制の案について説明し、参加者からの承認を得ました。



この計画書の策定に参画された方

お名前	所属	お名前	所属
森 茂八郎	茂木校区連合自治会	伊達木 仁一郎	茂木中学校区青少年育成協議会
河平 明久	宮摺自治会	中山 辰也	茂木中学校区青少年育成協議会
城下 季子	新田自治会	榎 玉三	茂木中学校区青少年育成協議会
高橋 貞信	寺下自治会	榎 倫子	茂木中学校区青少年育成協議会
藤本 礼子	茂木町中自治会	山口 正記	茂木中学校区青少年育成協議会
山崎 俊郎	橋口自治会	山口 誠	茂木小学校PTA
藤田 俊典	片町自治会	片山 悠治	茂木小学校PTA
岩永 隆	南川自治会	本多 幸子	茂木小学校PTA
森山 豊明	河内自治会	黒川 こずえ	茂木小学校PTA
竹下 正剛	茂木町西部自治会	田川 雅裕	茂木小学校
徳永 美知尋	転石自治会	江原 芳樹	茂木小学校
三浦 徳明	北浦自治会	池寄 克典	子どもを守る会
荒木 秀寿	北浦自治会	山口 猛司	子どもを守る会
神戸 誠	北浦自治会	城下 勇介	子どもを守る会
山田 勝和	北浦町新生自治会	竹市 保男	茂木中学校
山口 貞行	茂木市営住宅自治会	鈴木 和彦	茂木中学校
城下 伸生	恵比須自治会	久谷 勝彦	茂木中学校PTA
大串 恒文	茂木地区振興協議会	木山 真樹子	茂木中学校PTA
山口 新吉	茂木地区振興協議会	荒木 敬純	茂木中学校PTA
中本 修身	茂木地区振興協議会	泉田 京子	茂木中学校PTA
小林 徳儀	茂木地区振興協議会	橋本 美雪	茂木中学校PTA

お名前	所属	お名前	所属
山崎 敏仁	茂木中学校PTA	千崎 茂	老人会(中友会)
草野 千尋	茂木中学校PTA	峰 千晴	ちんじんよかBY茂木
辻 悟	民生委員・児童委員	中崎 光浩	ちんじんよかBY茂木
峰松 里子	民生委員・児童委員	高比良 順子	ちんじんよかBY茂木
野口 敬史	民生委員・児童委員	大島 徹也	ちんじんよかBY茂木
城下 かずみ	民生委員・児童委員	西田 和光	東長崎商工会
山口 政嘉	消防団	山崎 隆浩	東長崎商工会
三浦 学	消防団	池山 実	東長崎商工会
前川 満宏	消防団	坂本 歩	東長崎商工会
新田 明久	ペーロン保存会	浦川 小百合	長崎西彼農業協同組合茂木支所
大串 尚稔	ペーロン保存会	浦川 美奈登	長崎西彼農業協同組合茂木支所
川越 雅代	ペーロン保存会	小林 一久	茂木漁業協同組合
田村 裕子	ペーロン保存会	山下 敏男	茂木漁業協同組合
出口 津與志	茂木の環境を考える会アース	成瀬 宗一郎	小島・茂木地域包括支援センター
森 幹子	茂木の環境を考える会アース	辻田 由貴	小島・茂木地域包括支援センター
池山 耕治	茂木愛創会	藤島 康弘	小島・茂木地域包括支援センター
神田 成郎	茂木愛創会	駒田 鮎美	小島・茂木地域包括支援センター
関戸 善幸	茂木愛創会	犬塚 裕子	小島・茂木地域包括支援センター
西原 健吾	茂木愛創会	岩崎 照夫	個人
池山 賢太郎	ふれあいまつり事務局	大塚 正一	子どもを守るネットワーク

茂木の未来は

みんなです。つくる。

あなたは、10年後、どんな茂木に住みたいですか？
どんな茂木になってほしいですか？
今回、10年後の未来に向けての「まちづくり計画書」
を茂木の住民で策定しました。
茂木を想う住民の、熱い想いのこもった計画書です。
ぜひご一読いただき、一緒に動きましょう！



発行・問い合わせ先▶

茂木コミュニティ連絡協議会事務局

※長崎市役所茂木支所（836-0400）でも可